共通技術基盤サブワーキンググループ（SWG）第2回会合 議事録

日 時：2026年4月24日（金）15:00～17:30
場 所：早稲田大学西早稲田キャンパス51号館3階第五会議室およびMicrosoft Teamsオンライン会議
対面参加者（20名参加、敬称略、順不同）：

山路（早稲田）、大石（阪大）、笠田、大野（東北大）、園田、太田、樽見（電中研）、阿部（東大）、左右田（関電）、茶木、鈴木（IAE）、岡田（エネルギー安全技術研究所）、中ノ園（九電）、安元、小川（原電）、山下、加治、三島、三輪、竹本（JAEA）

Web参加者（18名参加、敬称略、順不同）：

小無（東北大）、吉武、小柳（九電）、橋本（北海道大）、渡嘉敷（日立）、高橋、三浦（東北電力）、土屋（東電HD）、浦野（中部電力）、守屋（中国電力）、槙井（神戸製鋼）、大堀（四電）、有馬（九大）、安部田（WH）、山崎（Studsvik）、佐藤（NDC）、相馬、宇田川（JAEA）

資料配布のみ（18名、敬称略、順不同）：

岡（北大）、藤田（東北電力）、近藤（東北大）、的場（関電）、佐藤（都市大）、菅原、鶴田（東電HD）、浅沼（東海大）、山本（中国電力）、岸本（室蘭工大）、岡田（MHI）、久保（規制庁）、橋爪（九大）、大塚、端、勝山、大久保、田崎（JAEA）

議事摘要：

- 共通技術基盤SWG（以下、「本SWG」）は第0回、第1回会合にてブレインストーミングを実施し、本SWG参加者の興味・関心・懸念事項を洗い出した。本会合では、本SWG参加者から意見が示された話題のうち2点に着目して、詳細なプレゼンテーションが実施された。本会合は、リード役である早大・山路先生のもと、早稲田大学を会場として実施された。
- 本会合の冒頭では、第0回および第1回会合の振り返りおよび今後の方針について事務局から説明が行われた。これまで会合で挙げられた意見や指摘事項は、コメント対応票の形式で取りまとめることが示された。
- 次に、国内の材料試験炉JMTR(JAEA・竹本氏)および事故耐性制御棒ATCR(電中研・樽見氏)についての2件のプレゼンテーションが行われた。
- 総合討議では、電力側の導入インセンティブや国内照射基盤の必要性、海外活用との比較を含めた戦略的な整理の重要性が共有された。
- 最後に、事務局からは本SWGの今後のスケジュール見通しが示された。なお、会合終了後には懇親会が開催された。

【配付資料】
資料2-1： 共通技術基盤SWG第2回会合_議事次第
資料2-2： 第0・1次回会合の振り返りと今後の進め方
資料2-3： JMTRの廃止及び後継炉の検討状況について
資料2-4： 事故耐性制御棒ATCRの紹介-制御棒の高度化による炉心安全性・経済性の向上-
参考資料2-a： 運営要綱および秘密保持誓約
参考資料2-b： ATF-PF共通技術基盤SWG名簿2
参考資料2-c： 共通技術基盤SWG第1回会合_議事録

以上